

## 会員より ～グリーンインフラに関する会員の取組を紹介します！～

## ■ グリーンインフラ産業展2023の事前来場登録受付中！

甲斐 義憲（所属 日刊工業新聞社 総合事務局 イベント事業部 副部長）【企画・広報部会】

グリーンインフラ官民連携プラットフォームと日刊工業新聞社は2023年2月1日～3日、東京ビッグサイトでグリーンインフラ産業展2023を初開催いたします。事前来場登録は公式webサイトで実施しています。是非ご来場ください。

## ● グリーンインフラ関連の製品・技術展示や併催事業が充実



公式ウェブサイト

- ゼネコン、建設コンサルタント、施設管理、緑化、雨水貯留浸透、建材などグリーンインフラ関連の約45の企業・団体が出展いたします。
- 会場内では関連省庁の施策紹介、藤本壮介万博会場デザインプロデューサー、忽那裕樹万博ランドスケープデザインディレクターの講演、グリーンインフラ官民連携プラットフォーム会員による事例紹介・相談会など50を超えるプログラムを実施します。併催事業等の詳細は順次、公式webサイトで公開いたします。

## ● グリーンインフラ産業展特設サイトでの情報公開



特設サイト

- 「防災・減災」、「都市空間」、「生活空間」、「生態系保全」、「資金調達」のテーマごとに動画を公開。
- グリーンインフラ産業展開催に向けて、グリーンインフラ官民連携プラットフォームの西澤敬二会長のスペシャルインタビュー動画を公開しております。是非ご覧ください。

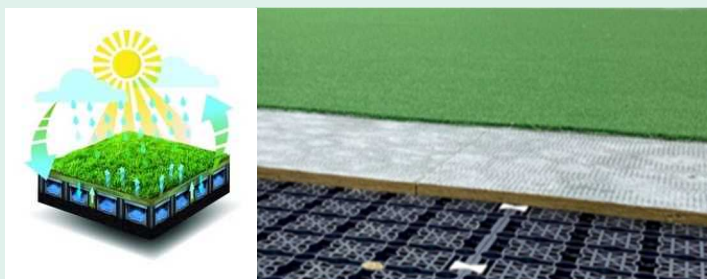
詳細はこちらから ▶▶▶ [グリーンインフラ産業展公式webサイト](https://biz.nikkan.co.jp/eve/green-infra/)（<https://biz.nikkan.co.jp/eve/green-infra/>）  
[グリーンインフラ産業展特設サイト](https://biz.nikkan.co.jp/eve/greeninfra/special/)（<https://biz.nikkan.co.jp/eve/greeninfra/special/>）

## ■ 循環型雨水管理を取り入れたスポーツピッチの事例

萬浪 広士（阪神園芸株式会社スポーツ施設部 課長）【3号会員】

欧州の最新システムを導入した持続可能な高品質スポーツピッチとグリーンインフラの両立

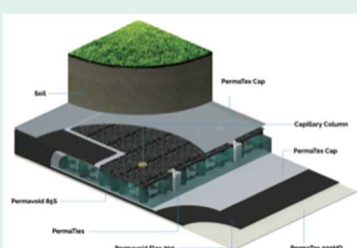
## ● 雨水を循環して大雨・暑熱対策+天然芝の育成にも有効利用できるシステム



システム全体のイメージ

- 通常、砕石底敷きなどで造成する芝生地の排水層にポリプロピレン製の面的ドレイン（製品名パーマヴォイド85s）を敷設。最大78L/m<sup>2</sup>の貯水能力と水分しみ上がり構造を持つので雨水のピークカットと暑熱対策、天然芝の育成（水分供給）、管理費用とメンテナンス低減にも役立ちます。
- 人工芝では一般的に暑熱対策用に遮熱チップやゴムなどの充填材が用いられていますが流出・溶出や異臭の問題があります。雨水を利用してピッチを冷やす方法は自然の力を利用するグリーンインフラの手法です。オランダでは夏場の人工芝ピッチの地表面温度が通常のピッチと比べ26℃も低いことを確認しました。

## ● 人工芝にも天然芝にも適用可能な高品質スポーツピッチが実現可能



システムの断面イメージ



BVGでの施工の様子

- バサラヴィレッジグリーン（神戸市西区、以下BVGと表記）は一般社団法人マイスターが整備したサッカー場。スポーツだけではない「持続可能な地域コミュニティづくりを目指す」整備・運営方針は欧州のグリーンインフラの考えに基づきます。
- 欧州では既に天然芝、人工芝の競技場だけでなく、気候変動への対策として様々な用途で使用されている技術ですが、欧州と比べ温暖湿潤気候の日本でも同じ様な用途で使用が可能か最適な管理方法を確認中です。今回、このパーマヴォイドシステムをBVG内の天然芝エリア、人工芝エリアのどちらにも設けました。

詳細はこちらから ▶▶▶ [TKI project Citysports | Permavoid](https://vimeo.com/755413055)（<https://vimeo.com/755413055>）



## 国土交通省の動き

### 「グリーンインフラ創出促進事業」の公募を開始

○ 国土交通省は、グリーンインフラに関する新技術・サービスの開発促進をするため、民間企業等による自然環境の多様な機能を利用する技術で実用段階に達していないものの開発支援を行います。

応募テーマ

対象技術Ⅰ：防災・減災に係る雨水浸透技術

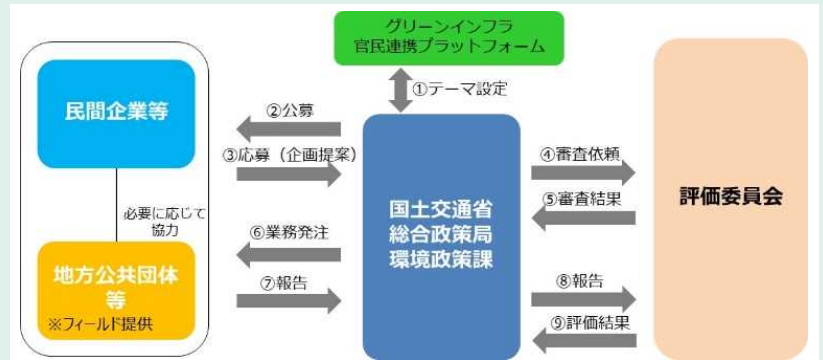
対象技術Ⅱ：定量的な効果のモニタリング技術

対象技術Ⅲ：上記以外でグリーンインフラに関する技術※

※新技術の実用化に向けた研究・開発等の必要性が認められる提案であれば選定の対象とします

公募期間

R4年12月12日(月)～R5年1月27日(金) 17:00(必着)



詳細や公募要領の確認はこちらから ▶▶▶ 「グリーンインフラ創出促進事業」報道発表 ([https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo10\\_hh\\_000278.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo10_hh_000278.html))

## プラットフォームより

### グリーンインフラ推進ロゴマークの決定 ～「#はじめようグリーンインフラ」キャンペーン～



○ プラットフォームでは、グリーンインフラを一層推進していくため、ロゴマークを決定しました。ロゴマークは、プラットフォーム会員であれば誰でも使用することができますので、今すぐプラットフォーム専用サイト(下部QRコード)からダウンロードください。

#### 「#はじめようグリーンインフラ」キャンペーン

○ ロゴマークを掲げて取組を実施していただける参加者等を募集します。参加表明をして、みんなで一緒にグリーンインフラを盛り上げていきましょう！

○ グリーンインフラに関する取組を実施したとき、見たとき、感じた時に、ハッシュタグ「#はじめようグリーンインフラ」を付けてSNSへ投稿をしよう！  
プラットフォームSNSアカウントのフォローが必要です。

ロゴの使用規約やキャンペーン詳細の確認はこちらから ▶▶▶ 「#はじめようグリーンインフラ」キャンペーン ([https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo10\\_hh\\_000279.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo10_hh_000279.html))

## TOPICS

### COP15 (生物多様性条約第15回締約国会議) が開催されました



○ 2022年12月7日～19日、COP15 (生物多様性条約第15回締約国会議) 第二部がモントリオール(カナダ)で開催されました。

○ 本会議では、世界目標の交渉のほかに、地方政府・都市サミット:「生物多様性のための行動」なども開催されており、CBD-COP15のHPよりアーカイブを見ることができます。

○ そして、国内においては、本枠組の採択を踏まえ、本年度末に次期生物多様性国家戦略の策定が予定されております。

詳細はこちらから ▶▶▶ 「COP15 公式Webサイト」 (<https://www.cbd.int/conferences/2021-2022>)

### 会員情報 1,615人・団体 (2022年11月末日時点)

- 新たな一号会員
  - ・大阪府 岸和田市
- 新たな三号会員 (民間企業、学術団体等)
  - ・昭和コンクリート工業株式会社
  - ・一般社団法人 自然共生社会研究会
  - ・九州建設コンサルタント株式会社

## 人物紹介

※グリーンインフラに携わる方々を毎月紹介します



むらやま なお  
**村山 奈緒** (出身:長野県)

国土交通省

総合政策局 環境政策課  
係員

安曇野市に生まれ、幼い頃から自然に触れて育って来ました。今年4月から新規採用職員として環境政策課に配属され、グリーンインフラについて勉強しながら業務に携わっております。グリフラ便りの編集担当として、多くの方にグリーンインフラの魅力を伝えられるよう、頑張ります。



随時会員募集！  
登録無料！  
団体でも  
個人でも登録可！

今すぐ、  
左記サイトから  
登録を！！